

教えて あいおいくん！



トラブルにあわない、スムーズな問題解決につながるよう
ぜひ心にとめておいていただきたい
「賢い情報収集・相談方法」についてお伝えします。

インターネットの普及により誰もが手軽に情報を入手できるようになりました。コロナ禍で不安が蔓延している昨今、様々な情報が錯そうしている中から真偽を確かめ、ご自身に必要な情報を入手することに右往左往されている方も見受けられます。

また、ご自身でインターネットで調べたうえで何かしらの解決策をお持ちになってご来所されるお客様もいらっしゃいます。

しかしながら、司法書士の立場からすると、お客様独自で解決策を講じることで逆に状況が悪化してしまったり、思わぬ税金がかかってしまったり、また将来トラブルに巻き込まれる可能性が高くなってしまうものも少なくありません。お客様に丁寧に説明すると、「自分で考えた方法でやっていたら、望まない結果になってしまったのではないか」と思うとゾッとします。今日、相談できて本当によかった」と安堵されます。

インターネットから情報を得る際に陥りがちな罠

インターネットは身近で便利ですが、一方で下記のようなパターンに陥る危険性があります。

- ◆間違っている情報であることに全く気づかず、その情報をもとに解決策を導き出してしまう
(信頼できる情報源や発信者の意図などを考慮する必要があります。情報を提供している人の専門性や経歴がわからない場合があります。同じ資格を持っている専門家でも経験年数や相談実績により得意不得意があります。)
- ◆そもそも調べるべきところが間違っている
(問題の本質を見誤っていると、調べる場所も変わってしまいます。)
- ◆前提とする法律等の知識が足りずに誤った理解をしてしまう
- ◆解決策を考えるのに参考にした事例が似て非なるもので、ご自身の問題とは異なる
(事例が異なれば解決策も異なります。)
- ◆不安や悩みを早く解消したいと思いが先に立ち、都合の良い情報を優先的にキャッチしている

法律論を超えて解決策を見出すことの必要性

当所ではじっくりお話を伺い、表情などからお客様の気持ちを汲み取ったり、お持ちいただいた資料などたくさんの情報をもとに解決方法を考えていきます。かしまった法律的なお話だけではなく、ときには世間話を交えた一般論などから、お客様にあった方法をご提案しています。

そして専門性を駆使しつつも、お客様の気持ちに配慮したり、寄り添う姿勢を大切にしています。

お客様のお悩みや問題は、ちょっとしたボタンの掛け違いによる感情のもつれやコミュニケーション不足に起因する人間関係に端を発している場合もあります。法律論だけで杓子定規に考えたり、効率性を重視してはうまくいきません。何か法的な手続きを講じれば、当面の問題は解決するかもしれませんが、しかし、遺恨や禍根を残し、後々に新たなトラブルにつながるような結果になるのであれば真の問題解決とはいえません。